

平成 30 年度第 14 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 31 年 3 月 19 日（火）8:45～9:05
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 不適切な事務処理及び不祥事の再発防止に向けて

●佐波コンプライアンス推進監（資料 1 に基づき説明）

12 月の政策会議で情報共有して以降、コンプライアンス懇話会や県議会からの意見をふまえて修正を行い、（案）を作成した。

☆鈴木知事

再発防止策を取りまとめただけでは意味がない。実行することが重要だ。県民からの信頼回復のためには、職員一人ひとりがコンプライアンスを意識して行動することが必要である。年度が替わるのを待たずに、できることからやっていく。熱伝導は、中心から周辺に伝わっていくものであり、この会議の出席者の本気度が周りに伝わっていく。県民の信頼を得るには、行動で示すしかない。しっかりと取組を進めてもらいたい。

（「不適切な事務処理及び不祥事の再発防止に向けて」を（案）どおり決定）

議題 2 平成 31 年度の広報展開について

●井爪課長【広聴広報課】（資料 2 に基づき説明）

平成 31 年度の広報展開について報告する。平成 31 年度は、これまでの「県民意識調査」等のアンケート結果や県民が県情報入手に活用したい媒体のニーズが多様化している現状をふまえ、各部局の広聴広報主任者で構成する広聴広報会議を活用し、より効果的な情報発信に向けた年間広報計画を策定し、各広報媒体を効果的に連携させた広報活動を展開することで、更なる情報発信の強化に取り組むこととする。

☆鈴木知事

情報発信については、活用する媒体の検討も必要だが、良質なコンテンツの提供の方が重要である。観光局や観光連盟など、上手くいっている事案を参考に、コンテンツの追求にも取り組んでももらいたい。

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●西城戦略企画部長（資料3に基づき説明）

2月18日、3月1日及び3月18日付けで公表した案件について、県民の声の件数としては18件、県の対応件数は19件であった。

3の主な内容としては、(1)の職員に関するもので、職員の対応についての意見、苦情を2件いただいている。

その他、詳細の内容は省略させていただくが、内容を確認いただき、行政運営に活用いただくようお願いする。

今年度1年間、県民の声に対応いただいた中で、反映区分を「次年度以降に反映したい」あるいは「施策の参考とする」とされたものについて、それぞれ適切に対応がなされるよう、引き続きよろしくお願いしたい。

(質疑等なし)